



ちがいを
ちからに
変える街。



渋谷区
Shibuya City

資料6

渋谷ユナイテッドによる部活動の地域移行について

シブヤ部活動改革プロジェクト

令和4年7月27日（水） 東京都部活動検討委員会

渋谷区スポーツ部スポーツ振興課長 田中 豊

渋谷区の基本構想

思わず身体を動かしたくなる街へ。

長生きできる街であると同時に、長生きしたくなる街になりたい。運動の習慣が人々の生活の一部になり、誰もが楽しみながら健康を保っていけるように。渋谷区は、渋谷区自身を「15km²の運動場」と捉え、日常的な運動も、楽しみで行うスポーツも、すべてが暮らしに溶け込むようなまちづくりを進めていきます。



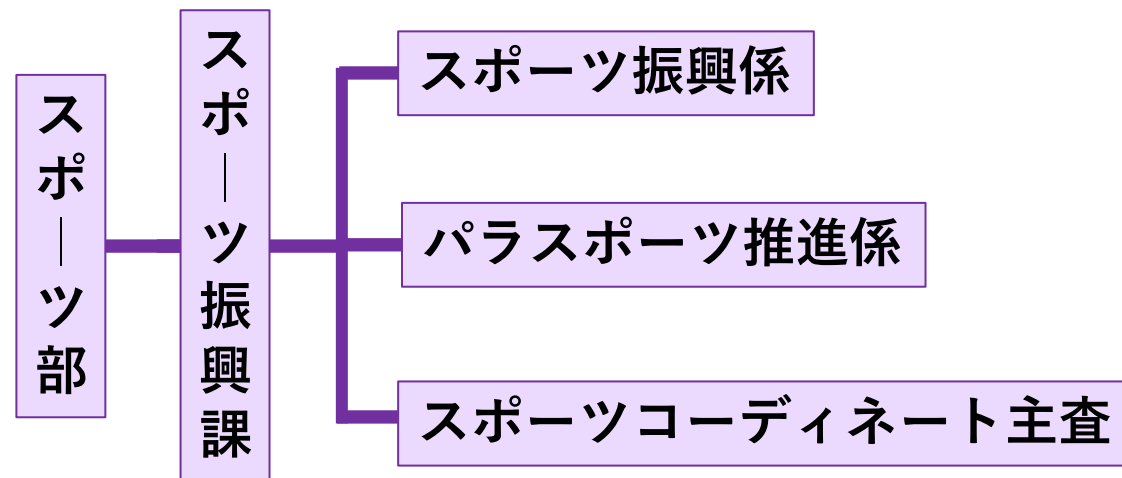
〈あたらしい未来像〉

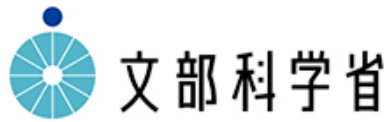
渋谷区スポーツ推進計画 2018-2022

「スポーツ」を4つの観点で捉える

- ・ するスポーツ
- ・ 見るスポーツ
- ・ 支えるスポーツ
- ・ つながるスポーツ

スポーツ部の組織





文部科学省



スポーツ庁

JAPAN SPORTS AGENCY

生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革も考慮した更なる部活動の推進を目指し、その第一歩として、「令和5年度以降、休日の部活動を段階に地域移行」を進めていく方向性を提示



渋谷区
Shibuya City

スポーツ部・教育委員会

生徒のニーズに応える部の設置及び学校の働き方改革を見据えた部活動の地域移行を実現させるため、渋谷区では令和3年度から先行して、シブヤ「部活動改革」プロジェクトを実施
スポーツ部内に専門員2人を配置し、法人設立や試行事業を準備開始

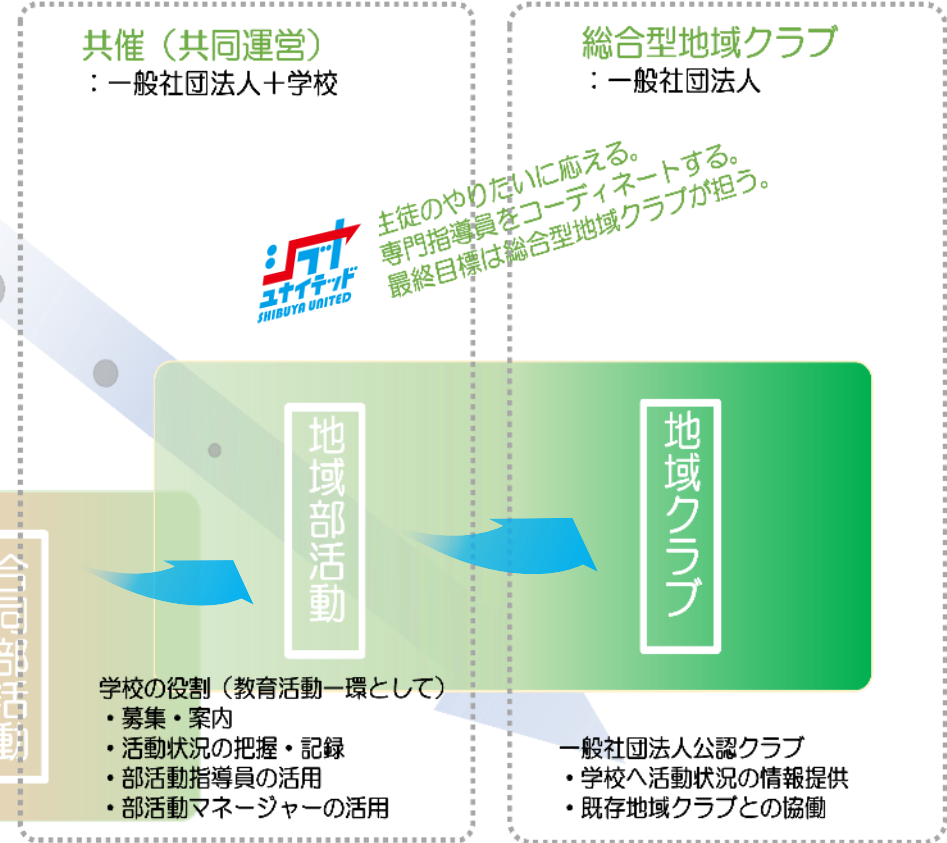


- 令和3年10月 部活動改革プロジェクトを推進する体制として
一般社団法人 渋谷ユナイテッド設立
代表理事：豊岡弘敏（前渋谷区教育長）
事務局：6人（プロパー4人＋区職員派遣2人）※R4.7現在
- 令和3年11月～令和4年3月 試行実施として9部活動を設置・運営
- 令和4年4月～ 9部活動+1イベントの本格始動

1 生徒のニーズを踏まえた運動部・文化部の設置

渋谷区では、学校によって設置されていない部活動がある。
例えばサッカー部は、8校中4校のみ設置。5校の生徒においては、部活動としてサッカーができない。
文化部においては、生徒が活動したい部が少ない。
女子や障がいのある生徒等のニーズに答えられていない。










👉 生徒のニーズに沿った部活動を設置するとともに、部活動の合同化を推進する。



2 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務である。
現在の部活動は、教師の献身的な勤務によって支えられており、長時間勤務の要因、特に指導経験がない教師には多大な負担となっている。

👉 教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組む。

種目	支援事業者
 サッカー	FCトリプレッタ アドバイザー 藤田俊哉氏
 ボウリング	渋谷区ボウリング連盟
 ダンス	CyberAgent Legit LDH JAPAN
 フェンシング	日本フェンシング協会
 デジタルクリエイティブ &eスポーツ	ミクシィ、東京ヴェルディクラブ、 フロンティアインターナショナル
 将棋	日本将棋連盟
 ボッチャ	日本ボッチャ協会
 ラグビー	東京山九フェニックス
 料理・スイーツマスター	服部栄養専門学校
 硬式テニス※	プロテニスプレーヤー等 スペシャルアドバイザー 伊達公子氏

スポーツ庁/地域部活動推進事業
※地域移行モデル種目として実施

- <令和4年度>
- ◎9部活動（10種目）を実施
運動部6・文化部3・イベント1
 - ◎活動日：土曜日 ※eスポーツは水曜日
 - ◎参加者：約200人
 - ◎対象：渋谷区立中学校1～3年生
※追加募集種目は小学生含む。

【コアプログラム】

自分の体の特性を科学的なデータから知ることによって普段の生活からスポーツまで、ケガを予防しながら効率的に体の動かし方を身につけるプログラムを実施。

文化庁/地域部活動推進事業

※イベント的に実施予定



料理・スイーツマスター部



デジタルクリエイティブ&eスポーツ部



コア・プログラム



ボッチャ部

ダンス部



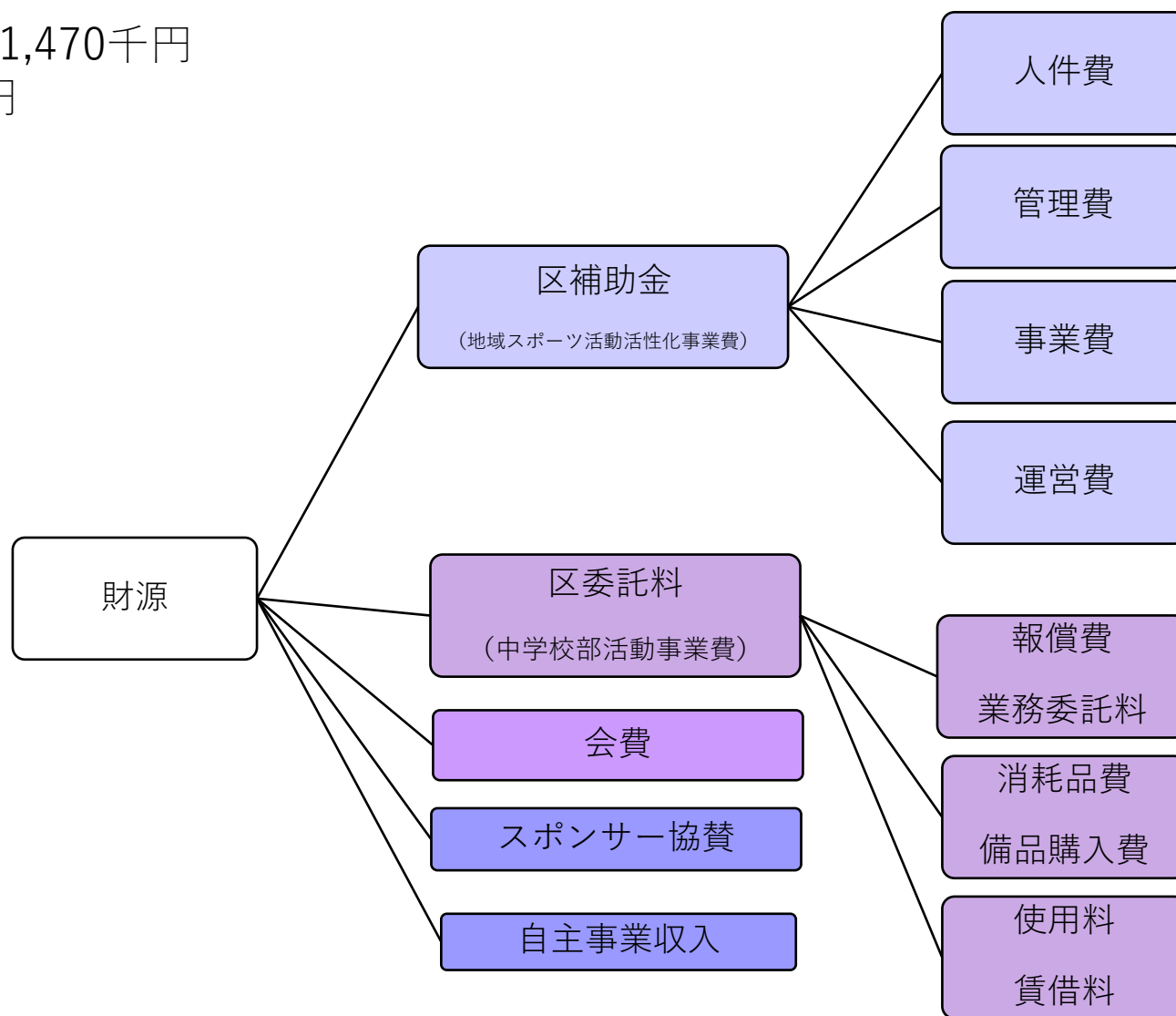
<https://shibuyaunited.tokyo/>

会費含む財源

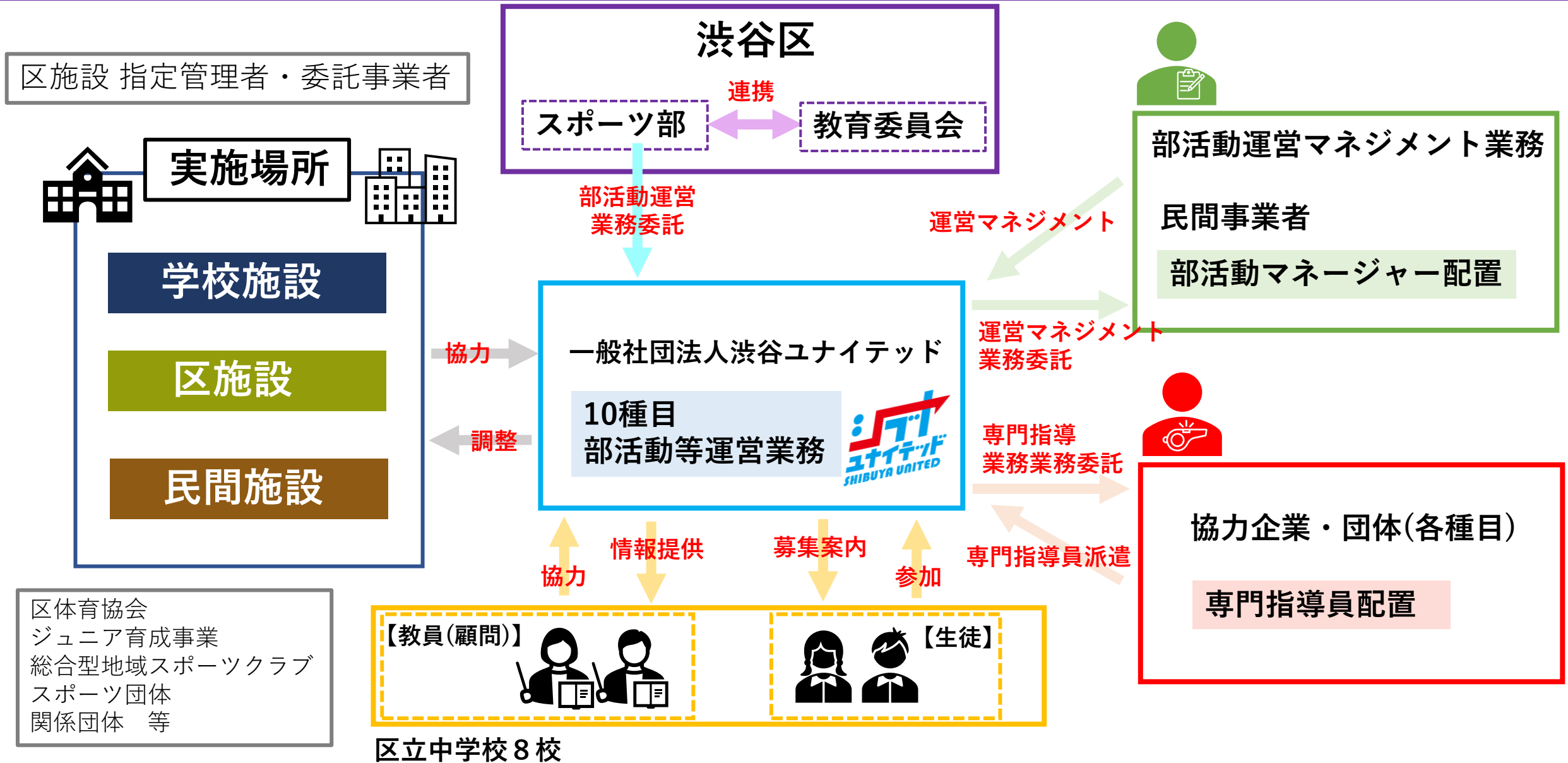
- ・ 区補助金（地域スポーツ活動活性化事業）：61,470千円
- ・ 区委託料（中学校部活動事業費）：36,475千円
- ・ 会費（見込）： 円
- ・ 協لاسポンサー（見込）： 円
- ・ 自主事業（見込）： 円

【参考】各部活動 会費一覧

種目	年会費
サッカー	6,000円
ボウリング	18,000円
ダンス	17,000円
ボッチャ	0円
将棋	0円
デジタルクリエイティブ &eスポーツ	18,000円
フェンシング	9,000円
ラグビー	0円
料理・スイーツマスター	20,000円



3 渋谷ユナイテッドについて⑤ -関係団体等との連携-



教員(顧問)・保護者理解

- = プロジェクトへの理解・協力
- = プロジェクトへ意識的な改革

広報(生徒への周知)

- = 既存部活動との共存と差別化

資金管理

- = 渋谷ユナイテッドの自主財源の確保
(スポンサー獲得,会費,自主事業収入など)

渋谷ユナイテッド体制の整備

- = 事業実施調整やクラブ経営的視点の整備 (事務局体制)
- = クラブ経営・法人事業の拡充

教育委員会・学校の連携強化

- = 教育委員会との一層連携できる体制構築
- = 既存部活動のユナイテッド移行

参加者への連絡手段

- = 中止、運営の緊急連絡事項を参加者へ伝えるツールの構築

人材確保 (技術指導者・部活動マネージャー)

- = 教員に代わる技術指導者の確保
- = 部活動運営をマネジメントできる人材の確保
- = 教育の質の担保
- = 研修の実施

(1)プラン

推進計画の策定、リソース・ネットワークの整理、実施主体の調整など

(2)人材

技術指導者の確保、マネージャー人材の確保、部活動指導員・外部指導員との連携、研修制度、体育協会・企業・大学・プロチーム・有資格者等の連携による人材バンクなど

(3)場所

学校施設(部活動間調整)・学校施設開放(利用団体調整)・公共施設・民間施設の確保など
※拠点校づくり、生徒の移動手段(特に平日)

(4)学校調整

ビジョンの共有、生徒指導上のルール共有、安全対策・連絡体制、活動評価の共有など
※教員の指導継続希望と協同運営意識

(5)生徒・保護者調整

ニーズ調査(種目・目的)、魅力的な活動内容、活動成果の発表機会と大会運営主体、主体性の育成、活動規範の共有、連絡体制、信頼関係づくりなど ※居場所としての部活動

(6)行政

行政リーダーシップ、教育・スポーツセクション連携、事業予算確保(参加費・交通費)、教員勤怠、大会参加規程整備、周知・広報など